

第2回地域別懇談会 まとめ

【開催概要】

- 日時：令和3年10月9日（土） 午前10時00分～正午
- 会場：和光市役所5階 502会議室
- 参加者：6名

- 日時：令和3年10月10日（日） 午前10時00分～正午
- 会場：和光市役所5階 502会議室
- 参加者：6名

○協議内容

- ・計画内容全般（主に新たに追加した内容について）について
- ・地域区分について
- ・地域別構想に関して、地域の特徴や今後のまちづくり方針について、地域で行われている活動等について

【開催状況】



■全体構想について

将来都市構 成図	拠点	・和光市駅中心に開発するのが和光にはあっているのよい。
		・都営三田線の延伸の話があった、実現すると人口が増え発展につながるのではないかと。
	産業	・田園都市であるためには、産業拠点を極力少なくした方がよい。(公害やごみの心配もある)
		・和光市北インター付近は産業振興が掲げられているが、物流センターなどは将来的には無人化となり、人が働く場にはならないと考えている。そのような環境が、はたして街のためになるのか疑問である。
		・働く人を取り込み昼間人口が夜間人口より高い三芳町のように、和光市も昼間に地域で稼ぐ人をつくるのが大事。(農業の振興なども含めて)
	道路・交通	・和光北インターチェンジ周辺までの交通について、往復 3.5km にモビリティ交通を目指しているが、多額の整備費用、維持管理費は人口の少ない地域より多い地域で推進できると良い。市役所までつなげるモビリティにしていく必要がある。
		・健康の増進につながるまちづくりとして外郭環状道路沿いにランニングロードをつくってはどうか。
デジタル	・デジタルが一人歩きしており、できるできないがはっきりしてきている。そのような中でどのように推進していくのか、自治体任せ、個人負担が大きくなっているのではないかと。	
全体	・基本構想との整合性をしっかり見ていくことが大事。	
	・埼玉県のお考えとの整合性を図っていくことが大事。	
	・ハードとソフトを一緒に考えていくことが大事。	
土地利用の 方針	土地利用	・北口の再開発を進めていくことが大事である。
		・調整区域の有効活用が進んでいるのか。生活道路に関わるそれらの土地の管理に問題がある。
	農地	・生産緑地は「あるべきもの」とするとあるが、農家は高齢化のため農業の継続が難しく、農地ではなくなると相続税の負担も大きく売却せざるを得なくなっている。営農環境の保全は必須である。
・農地を残したい、農家ファーストで。		
道路・交通 体系の方針	都市計画 道路	・未着手となっている都市計画道路が多い。
	移動	・白子1丁目の人は市役所方面への移動やアーバンアクアのスポーツ施設方面への移動が大変。
		・和光市では、車がないと移動が難しい場所が多い。
		・南地域から北への移動手段がない。
	道路・歩道	・狭い道が多く、自転車での走行が危険な箇所が多い。
		・歩道が狭く、危険な箇所が多い。ガードレールを作る予算が無いようであればハンパで事故が起こりにくくする工夫が必要。
・景観にも寄与するような舗装整備を企業との協力で進め、プレートで紹介してはどうか。		
新たなモ ビリティ	・モビリティ実験の全市展開が必要。	
	・シェアサイクルの充実が必要である。特に需要の多い中央地域は駅前にシェアサイクル台数が少ないのでスーパーにも常設できると利便性が高まる。	

		<ul style="list-style-type: none"> ・和光市の若い住民が一気に高齢化することを見据え、運動を促進するしくみとして外環側道ランニングロードの整備をしてはどうか。
	公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の充実が求められる。 ・笹目通りにバスが通っていない。(車がないと移動が大変な地域) ・地域公共交通の充実を図るためには、循環バスの運行を和光市駅を中心に、地域での乗り降りが楽にできるよう改善する必要がある。 ・循環バスの利用目的が変化してきている。以前は市の公共施設を廻るために利用されていたが、今は、買い物に行く、病院へ行くなど、個人が行きたいところに行けることが重要になっている。 ・中央地区と他地区では予算の計画にも大きな差がある。公共交通も市内の交通は不便である。
都市防災の方針	防災性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した市役所の建て直しが必要ではないか。手狭にもなっていると思う。高度利用地区に市役所を移転することを考えてもよいのではないか。
	避難	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所になっている小学校の鍵を開けるのは先生だが、先生は地元の人ではないため、実際の被災時を想定すると鍵を開けられたり中に詳しい人が不在になる。こうした実際の状況を考えたオペレーションが必要ではないか。
	避難路・避難場所	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者には、携帯を持っていない、あるいは持っていても使いこなせないなど、避難を知らせる防災メールの利用が難しい人もかなりいる。ハード整備に合わせ、高齢者のような情報弱者への対応が必要だと思う。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・年々自治会の防災に関する補助金が減額されている。 ・「和光ボウサイ部」という市民活動との連携ができると良い。
生活環境の方針	下水道	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ浄化槽のトイレが使用されているところがある。公共下水道が道路までは引かれているが、家庭内まで引き込むと有料になってしまうためではないか。下水道への接続を支援する必要があるのではないか。
	空き家	<ul style="list-style-type: none"> ・家の所有者が高齢になり施設に入ってしまう空き家が増えている。自治会に声がけして、空き家対策講演会をしてはどうか。
	住宅	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題として、高齢者の住まい、住宅としての介護施設のあり方、位置付けもいれてはどうか。施設が孤立化しており、そこで暮らしているのに地域とのコミュニケーションがとれていない現実がある。
	ゴミ処理施設	<ul style="list-style-type: none"> ・朝霞市と合同で大型の溶融炉をつくれれば、ゴミが増えても処理はできるだろうし、ダイオキシンも出ないだろうが、もう少し広く環境負荷を考えれば、ゴミ自体を減らす方向で考えることが必要ではないか。そのような意識づけをすることが大切だと思う。
地域区分	中央地域	<ul style="list-style-type: none"> ・中央地域は感覚的に線路の南北は違うエリアという感覚がある。
		<ul style="list-style-type: none"> ・中央地域の南側には、西大和団地と広沢まで入れた方が感覚的には近い。
	南地域	<ul style="list-style-type: none"> ・南地域は地形等の分断を考えると南1丁目は別の地域という感覚がある。
		<ul style="list-style-type: none"> ・第4小学校区の諏訪原団地などは、生活圈や地域コミュニティとしては南地域になる。
	北地域	<ul style="list-style-type: none"> ・北地域は、防災的に力を入れていく必要がある市街化調整地域のラインより上で区切るのが良い。
	東地域	<ul style="list-style-type: none"> ・東地域は白子3丁目を北まで入れるが、白子1～2丁目は南地域に入れる。
地域区分について	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校区という考え方もあるが、自治会や地区社協などのエリア感覚も大事。 	

		<ul style="list-style-type: none"> ・地域区分はあってもよいが、そこだけで完結するのではなく、地域間のコミュニケーションが必要だと思う。
公園・緑地・環境の方針	農地	<ul style="list-style-type: none"> ・現状では、相続による農地の宅地化は避けられないと思う。さらに、農道が残った状態で宅地化が進むことで、狭く曲がりくねった坂道は道路整備されないままとなっていると感じる。農地を維持、保全できるよう、早急に法整備が必要である。
	公園	<ul style="list-style-type: none"> ・公園活用に民間の力が生かされることが大事。企業による Park-PFI だけではなく、市民活動団体による活用など、市民参加で公園の活用を考えていける場があると良い。 ・開発に伴う提供公園についても、市民協働による管理・運営が必要ではないか。学校単位の範囲で実施してはどうか。
都市景観形成の方針	景観	<ul style="list-style-type: none"> ・景観にも寄与するような舗装整備を企業との協力で進め、プレートで紹介すると良い。
その他	視点	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の目線を持って検討することが大事。
		<ul style="list-style-type: none"> ・中高一貫の教育を考えることも大事。
	施設	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館・美術館がほしい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・葬儀場がない。(以前葬儀場をつくる話が上がったがなくなった)
		<ul style="list-style-type: none"> ・歩いて行けるとところに図書館などの施設があると良い。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・畑にある木にハチが集まって危険。
<ul style="list-style-type: none"> ・公園で子供を遊ばせる際に砂場に猫のフンがあって困っている。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・選挙など市民の関心の高まりも重要である。 		

■地域別構想について

中央地域	道路・交通	・和光市インターチェンジ周辺までの交通について、往復 3.5km にモビリティ交通を目指しているが、多額の整備費用、維持管理費は人口の少ない地域より多い地域で推進できると良い。市役所までつながるモビリティにしていく必要がある。
		・生活道路で危険な道にハンプをつくるなど安全性を高める工夫が必要。
		・シェアサイクルの充実が必要である。特に需要の多い中央地域は駅前にシェアサイクル台数が少ないのでスーパーにも常設できると利便性が高まる。
	土地利用	・北口の再開発を進めていくことが大事。
・外環上部丸山台地区は今のままでも良い印象がある。市民が活用の提案ができるような場があると良い。		
・工場跡地がスーパーになるケースが複数あり、交通量が上がって安全性にも影響があるため、用地転用の動向は把握していくことが大事。		
その他	・和光市駅には改札口が1つしかないので今のままでは混雑して危険である。	
北地域	土地利用	・地域全体が未開発・未利用の印象がある
		・都営三田線の延伸の話があった、実現すると人口が増え発展につながるのではないか。
		・新倉と朝霞市との境界のエリアの遊休地が管理されておらず、ゴミ捨て場になっている。地主にその管理の徹底を図る必要がある。
南地域	地域区分	・越後山通りの北と南で地域が区分されている。
		・越後山通りと笹目通りによって3つのエリアに分かれている。
	道路交通	・南地域から北への移動手段がない。
		・白子 1 丁目の人は市役所方面への移動やアーバンアクアのスポーツ施設方面への移動が大変。
		・桃手通りは循環バスのコースがなくなっている。
		・笹目通りにバスが通ってない。(車がないと移動が大変な地域)
		・狭い道が多く、歩道が狭い箇所が多い。
		・笹目通りの南側の歩道が狭く自転車での走行が大変。
	土地利用	・地域の高齢化を見ると、人口減少の予想も納得できる。
		・都営大江戸線延伸で北大泉に新駅ができると駅周辺の人口が増え、南地域も人口が増えるのではないか。
防災	・団地が老朽化しており、建替えが課題。	
	・高齢化しており、防災のシステムを利用することの難しさがある。	
	・柔軟な避難体制、近隣自治体との相互利用が必要である。	
	・白子川より東側は練馬区の光が丘公園に避難することになる。災害時は自治体単位ではなく広域避難として、より安全な避難が最優先になるので、近隣自治体との連携が重要。	
景観	・越後山通りは雑草が伸びて景観が悪い。	
東地域	道路・交通	・白子小から下っていく道路はあまりにも狭すぎる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・快適で利便性の高い地域公共交通の充実を実現するには、道幅の問題がある。狭い道が多く宅地化も進み道路自体の拡幅は難しいと思うが、電線を地中化し電柱をなくすことで狭い道を解消できないか。 ・循環バスは、和光市駅を中心に運行し、乗り換えが楽に行えるようにしたい。 ・現在は市役所に行くのが大変だが、今後は出張所で全ての手続きができるようにするとか、デジタル化で自宅から手続きできるようになると、移動手段の考え方も変わってくる。 ・行政区分と住民の動きは違い、東地域は成増に顔が向いている。和光市に顔が向くには、和光市内での移動、和光市駅を中心とした交通が要になる。
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ・白子2丁目の建設中のマンションの現場から地下水が出て工事が止まっている。無理な土地利用なのではないか。